

図表104 救急体制別比較・ケアミックス病院（社会保険関係団体病院）

	(病院数)	ケアミックス病院 社会保険関係団体			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
		(0)	(1)	(0)	(1)
	(平均病床数)	-	(115.0)	-	(44.0)
収益性					
医業利益率	(%)	-	-4.8	-	-9.5
総資本医業利益率	(%)	-	-5.6	-	-2.6
経常利益率	(%)	-	-4.0	-	4.4
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-	4.4	-	7.6
病床利用率	(%)	-	93.3	-	63.5
固定費比率	(%)	-	72.2	-	87.2
材料費比率	(%)	-	15.7	-	10.7
医薬品比率	(%)	-	9.1	-	7.3
人件費比率	(%)	-	63.1	-	67.4
委託費比率	(%)	-	7.2	-	5.6
設備関係費比率	(%)	-	9.1	-	19.8
減価償却費比率	(%)	-	9.1	-	17.1
経費比率	(%)	-	9.1	-	5.2
金利負担率	(%)	-	0.0	-	0.0
総資本回転率	(%)	-	116.7	-	27.7
固定資産回転率	(%)	-	285.3	-	30.9
医師人件費比率計	(%)	-	9.6	-	12.8
常勤医師人件費比率	(%)	-	3.5	-	8.3
非常勤医師人件費比率	(%)	-	6.2	-	4.4
看護師人件費比率計	(%)	-	21.5	-	21.5
常勤看護師人件費比率	(%)	-	15.5	-	14.6
非常勤看護師人件費比率	(%)	-	6.0	-	6.8
その他職員人件費比率計	(%)	-	20.4	-	24.6
常勤その他職員人件費比率	(%)	-	15.9	-	16.1
非常勤その他職員人件費比率	(%)	-	4.5	-	8.6
常勤医師1人当り人件費	(千円)	-	13,801	-	15,975
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	-	4,050	-	6,004
職員1人当り人件費	(千円)	-	5,769	-	5,869
職員1人当り医業収益	(千円)	-	9,148	-	8,711
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	-	11,025	-	14,454
(参考)変動比率	(%)	-	16.2	-	12.4
安全性					
自己資本比率	(%)	-	15.8	-	90.8
固定長期適合率	(%)	-	46.2	-	90.8
借入金比率	(%)	-	0.0	-	0.0
償還期間	(年)	-	0.0	-	0.0
流動比率	(%)	-	513.1	-	916.1
1床当り固定資産額	(千円)	-	3,656	-	42,252
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	-	5.1	-	21.5
機能性					
平均在院日数	(日)	-	60.3	-	22.8
外来/入院比	(倍)	-	1.2	-	3.8
1床当り1日平均入院患者数	(人)	-	0.9	-	0.6
1床当り1日平均外来患者数	(人)	-	1.1	-	2.4
患者1人1日当り入院収益	(千円)	-	18.6	-	22.3
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	-	18.1	-	21.2
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	-	6.2	-	6.3
医師1人当り入院患者数	(人)	-	17.3	-	6.1
医師1人当り外来患者数	(人)	-	20.0	-	23.0
看護師1人当り入院患者数	(人)	-	1.9	-	1.2
看護師1人当り外来患者数	(人)	-	2.1	-	4.4
職員1人当り入院患者数	(人)	-	0.8	-	0.4
職員1人当り外来患者数	(人)	-	0.9	-	1.6
1日当り救急患者数	(人)	-	6.7	-	0.6
1床当り救急患者数	(人)	-	21.3	-	4.9
1日当り救急搬送患者数	(人)	-	0.7	-	0.2
救急患者入院率	(%)	-	7.1	-	0.0

図表105 救急体制別比較・ケアミックス病院（その他公的病院）

	(病院数)	ケアミックス病院			
		その他公的			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
(平均病床数)	(8)	(20)	(0)	(5)	
		(93.4)	(244.4)	-	(106.8)
収益性					
医業利益率	(%)	-20.2	-0.7	-	-7.8
総資本医業利益率	(%)	-15.6	-0.3	-	-8.4
経常利益率	(%)	-4.0	0.0	-	-5.1
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-15.3	4.7	-	-2.9
病床利用率	(%)	76.2	76.6	-	84.0
固定費比率	(%)	80.0	61.6	-	73.3
材料費比率	(%)	22.5	27.0	-	17.8
医薬品比率	(%)	17.8	19.7	-	13.7
人件費比率	(%)	71.7	53.4	-	64.6
委託費比率	(%)	9.4	5.3	-	8.1
設備関係費比率	(%)	7.6	7.6	-	7.6
減価償却費比率	(%)	4.9	5.4	-	4.9
経費比率	(%)	7.9	5.7	-	8.6
金利負担率	(%)	0.7	0.6	-	1.1
総資本回転率	(%)	69.6	89.8	-	82.2
固定資産回転率	(%)	343.9	159.6	-	81.9
医師人件費比率計	(%)	15.1	11.9	-	10.2
常勤医師人件費比率	(%)	9.4	9.3	-	8.2
非常勤医師人件費比率	(%)	5.7	2.6	-	2.0
看護師人件費比率計	(%)	25.0	18.9	-	23.0
常勤看護師人件費比率	(%)	23.9	18.1	-	22.2
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.1	0.8	-	0.8
その他職員人件費比率計	(%)	19.7	14.1	-	21.1
常勤その他職員人件費比率	(%)	14.6	13.0	-	17.8
非常勤その他職員人件費比率	(%)	5.1	1.1	-	3.3
常勤医師1人当り人件費	(千円)	21,553	16,056	-	19,369
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,111	4,875	-	4,801
職員1人当り人件費	(千円)	6,592	6,735	-	5,720
職員1人当り医業収益	(千円)	9,376	12,870	-	9,028
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	11,519	14,739	-	8,278
(参考)変動比率	(%)	24.7	28.2	-	19.3
安全性					
自己資本比率	(%)	24.7	2.3	-	9.2
固定長期適合率	(%)	65.3	95.1	-	90.5
借入金比率	(%)	61.1	38.0	-	57.4
償還期間	(年)	2.7	3.3	-	6.5
流動比率	(%)	554.8	205.6	-	143.5
1床当り固定資産額	(千円)	9,011	11,501	-	10,241
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	1.6	6.0	-	0.8
機能性					
平均在院日数	(日)	50.0	30.4	-	161.7
外来/入院比	(倍)	1.4	1.8	-	0.6
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.8	0.8	-	0.8
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.0	1.3	-	0.5
患者1人1日当り入院収益	(千円)	19.8	30.7	-	17.4
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	19.6	30.1	-	17.2
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	8.5	11.1	-	11.2
医師1人当り入院患者数	(人)	12.6	8.3	-	18.8
医師1人当り外来患者数	(人)	16.4	13.3	-	10.4
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.7	1.4	-	2.4
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.2	2.3	-	1.3
職員1人当り入院患者数	(人)	0.8	0.7	-	1.0
職員1人当り外来患者数	(人)	1.0	1.2	-	0.6
1日当り救急患者数	(人)	3.1	11.2	-	1.0
1床当り救急患者数	(人)	11.8	15.9	-	4.9
1日当り救急搬送患者数	(人)	0.3	1.9	-	0.1
救急患者入院率	(%)	6.3	10.7	-	7.6

(2) 入院経路と経営状況

本項では、有効回答施設 1402 施設のうち、患者数に関する設問への回答状況により抽出した¹⁴543 施設を対象に、入院経路に関する集計を補論として行った。

1) 新入院患者の入院経路別割合

図表 106 は新入院患者の入院経路を、救急入院¹⁵、紹介入院¹⁶、その他の3区分で捉えた場合の経路別内訳をみたものである。病院種別計では、救急によるものが20.0%、紹介によるものが18.0%であった。病院種別にみると一般病院とケアミックス病院では2割前後が救急で、療養型病院や精神科病院より救急による入院の割合が高い。療養型病院は、紹介が28.6%と高く、救急が9.3%と少なかった。精神科病院では、救急が8.6%と少なく、その他が70.3%と、他の病院種より高かった。

図表106 新入院患者の入院経路別内訳（全開設者）

入院経路	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
救急入院	21.8%	19.9%	9.3%	8.6%	20.0%
紹介入院	17.5%	17.1%	28.6%	21.1%	18.0%
その他	60.8%	63.0%	62.2%	70.3%	62.0%

¹⁴ 在院患者延数, 新入院患者数, (新入院患者数のうち) 診療時間外の患者数, (新入院患者数のうち) 救急車で搬送された患者数, (新入院患者数のうち) 紹介入院患者数, 退院患者数, 外来患者延数, (外来患者延数のうち) 診療時間外の患者数, (外来患者延数のうち) 救急車で搬送された患者数, 初診患者数, 紹介患者数, 逆紹介患者数の全設問に1以上の回答があり、かつ、紹介入院患者数が紹介患者数を上回らない施設、救急搬送数計が時間外の救急搬送数を上回らない施設。

¹⁵ 救急により入院した患者数は、「新入院患者のうち診療時間外の患者数」を用いており、診療時間内に緊急入院した患者の数は含んでいない。

¹⁶ 紹介入院患者数は、「新入院患者のうち、概ね1ヶ月以内に、他の医療機関からの紹介状を持参して来院した患者数」と定義して記入を求めた。

新入院患者における救急入院の割合について病床規模別にみると、一般病院では20床以上49床以下でやや割合が低い。ケアミックス病院では、300床以上399床以下で、目立って高い。精神科病院では、200床以上299床以下で若干高い。

図表107 新入院患者における救急入院の割合・病床規模別（全開設者）

病床規模	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
20床以上49床以下	15.4%	25.0%	14.8%	7.8%
50床以上99床以下	20.5%	16.9%	7.3%	
100床以上199床以下	22.5%	19.7%	3.7%	
200床以上299床以下	21.0%	18.8%	—	10.8%
300床以上399床以下	22.1%	28.6%	—	5.1%
400床以上	22.9%	21.1%	—	8.6%

※網がけは、サンプル数が5以下。

新入院患者における紹介入院の割合について病床規模別にみると、一般病院およびケアミックス病院では50床以上99床以下病院で、若干低い。

図表108 新入院患者における紹介入院の割合・病床規模別（全開設者）

病床規模	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
20床以上49床以下	18.6%	9.2%	37.6%	27.4%
50床以上99床以下	11.9%	13.7%	24.2%	
100床以上199床以下	18.6%	18.7%	31.4%	
200床以上299床以下	18.9%	16.9%	—	19.1%
300床以上399床以下	17.6%	15.9%	—	14.0%
400床以上	17.7%	18.4%	—	22.1%

※網がけは、サンプル数が5以下。

2) 新入院患者と経営指標

「4. 黒字赤字比較に基づく経営改善の方向性」(P.33) でみたとおり、赤字病院の収益基盤の特徴として、病床利用率が低いことが把握され、在院日数の短縮が進む中、新入院患者増が重要な課題として分析された。そこで、新入院患者増に向けた示唆を得るため、新入院患者の多寡¹⁷により病院を2群に分け、入院経路に関する関連指標を設定し、比較を行った。

図表 109 は、一般病院についての比較である。新入院患者の多い群では、病床利用率が 81.1% と高い。また、入院経路関連指標についてみると、新入院患者の多い群の特徴としては、1 日当り救急患者数、1 床当り救急患者数、1 床当り紹介患者数が多く、救急患者入院率（救急患者のうち入院する患者の割合）が高い。これに対して、新入院患者の少ない群の特徴としては、1 日当り救急患者数、1 床当り救急患者数、1 床当り紹介患者数が少なく、紹介患者入院率（紹介患者のうち入院する患者の割合）が高い。入院患者に占める経路別割合（救急入院率、紹介入院率、救急・紹介入院率）については、両者でほとんど差はみられない。

図表109 新入院患者数と入院経路に関する指標（全開設者・一般病院, n=350）

区分	新入院患者多	新入院患者少	差(多-少)
1日当り救急患者数(人)	34.0	15.2	18.8
1床当り救急患者数(人)	32.2	22.8	9.4
1床当り紹介患者数(人)	19.2	10.6	8.5
救急患者入院率	16.6%	13.7%	2.9%
紹介患者入院率	18.9%	25.0%	-6.1%
救急入院率	21.8%	21.7%	0.1%
紹介入院率	17.4%	17.5%	-0.1%
救急・紹介入院率	39.3%	39.2%	0.1%
(参考) 1床当り新入院患者数(人)	20.2	11.9	8.3
(参考) 平均在院日数(日)	15.0	24.3	-9.3
(参考) 病床利用率	81.1%	73.0%	8.1%

¹⁷ 1床当り新入院患者数の平均値により2群に区分した。

図表110 指標の計算方法

1日当り救急患者数＝救急患者数/366日

1床当り救急患者数＝救急患者数/許可病床数

1床当り紹介患者数＝紹介患者数/許可病床数

救急患者入院率＝診療時間外の患者のうち入院した患者の数/救急患者数

紹介患者入院率＝紹介患者のうち1ヶ月以内に入院した患者の数/紹介患者数

救急入院率＝診療時間外の患者のうち入院した患者の数/新入院患者数

紹介入院率＝紹介患者のうち1ヶ月以内に入院した患者の数/新入院患者数

救急・紹介入院率＝（診療時間外の患者のうち入院した患者の数＋紹介患者のうち
1ヶ月以内に入院した患者の数）/新入院患者数

（参考）1床当り新入院患者数＝新入院患者数/許可病床数

(3) 今後の指標改定に向けた考察

1) 集患機能に関する経営指標

「4. 黒字赤字比較に基づく経営改善の方向性」でみたとおり、赤字病院の収益基盤の特徴として病床利用率が低く、病床利用率の管理が、病院経営安定化に向けて、極めて重要な課題であると指摘できよう。在院日数の短縮が進む中、病床利用率を維持・向上するために、各医療機関においては、従来どおりの集患機能の継続だけでは十分ではなく、取り組みの妥当性を検証しながら、より効果的な方法を実践していく必要がある。

そこで新規患者の確保に直接的にターゲットをあてた「1床当り新入院患者数」を指標として導入することを検討する。データ収集については、平均在院日数算出のために新入院患者数を収集していることから、回答者の負担を増やさずに結果を得ることが可能である。

また、本調査結果より、一般病院について「1床当り新入院患者」の多寡で2群に分けて、入院経路に関する指標を比較したところ、新入院の多い群では、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」および「1床当り紹介患者数」の指標が高いことがわかった。このことから、救急患者数や紹介患者数が、新入院患者の先行指標（原因指標）となり得ることが窺え、救急患者数および紹介患者数のデータを蓄積の後、新入院との因果関係を検証し、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」、「1床当り紹介患者数」についても指標として導入することを検討すべきと考えられる。

さらに、今回の調査で、救急患者入院率、紹介患者入院率を把握した。これらの指標は、新入院患者をどのような経路で確保するか、病院が戦略形成するにあたって有効に活用できる指標であるといえよう。ただし、入院医療が必要な頻度は、診療科目により大きく差があるため、指標の活用性を高めるためには、診療科構成に配慮したデータ収集・集計を行うことが望ましい。また、紹介患者入院率の把握にあたって本調査では、「新入院患者のうち、概ね1ヶ月以内に、他の医療機関からの紹介状を持参して来院した患者数」として記入を求めたが、本項目における記入率が低かったことから、データ収集上の課題についての検討も必要である。

2) 救急の運営効率に関する経営指標

二次救急体制をとっている病院について、黒字赤字比較を行ったところ、医療法人立病院においては、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」、「1日当り救急搬送患者数」、「救急患者入院率」いずれの指標についても赤字病院が少ない結果であった。このことから、救急医療体制をとる病院の経営改善には、救急患者の受け入れ件数を増やすことが一つの方向性であると考えられる。しかしながら、同様に自治体病院について、黒字赤字比較を行ったところ「1日当り救急患者数」、「1

床当り救急患者数」、「1日当り救急搬送患者数」、「救急患者入院率」いずれも赤字病院の方が多かった。このことから自治体病院においては救急患者受入が収益性の低下を招いているとの懸念がもたれるところであるが、本調査では、自治体病院において黒字病院の施設数が少ないことから収益性の影響までを断定することはできず、救急医療の提供に伴う運営面での効率性分析が待たれるところである。

業務量の多寡はあるにせよ、救急医療は、病院にとっての本質的使命であることから、運営効率向上のための手がかりとなる基準値（適切な要員数の目安を示唆する値）等を整備、公表することは、指標活用の観点から有用であると考えられる。しかしながら、救急部門が独立的に運営されている施設は限定的であり、多くは病棟等との連携を前提に運営されているため、収支や運営状況の把握が困難である。そこで、救急部門運営の実態調査等に基づいて、運営方法をモデル化した上で、収支や業務効率を把握する等、病院経営管理指標とは区別した調査方法についても併せて検討の余地もあろう。